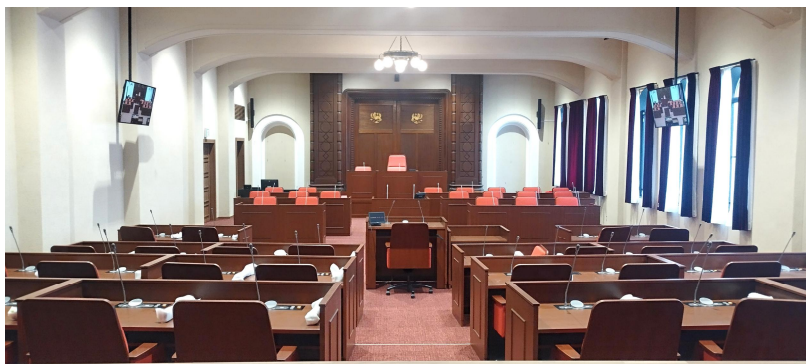




議長選挙、副議長選挙がおこなわれ、議長に清川雅史議員、副議長に古川雄一議員 常任委員会の構成も変わりました 原田俊広議員は 新たに文教厚生委員会へ

会津若松市議会は「通年議会制」をとっていて、毎年8月1日に議会が招集され、翌年7月31日まで365日を会期としています。この8月1日にも招集議会が開催されましたが、今年の場合4年の議員任期の半分、2年ごとにおこなわれる正副議長の改選と各常任委員会の入れ替えがおこなわれました。



議長選挙には清川雅史議員一人が立候補 清川雅史議員24票 無効3票で清川雅史議員が当選

地方議会の議長副議長選挙については、地方自治法第103条で「普通地方公共団体の議会は、議員の中から議長及び副議長1人を選挙しなければならない」となっていて、立候補は必要なく議員の中から投票で選ぶことになっています。



会津若松市議会では、議長選挙と副議長選挙の時に、議長と副議長になろうとする議員がいれば、その所信を表明し、各議員の質疑にも応じることになっています。

今回の議長選挙には清川雅史議員が立候補を表明し、その所信を表明しました。所信の概要は下記のとおりです。

- ◎議会改革の継続的取組と新たな取組（政策サイクルの充実）
 - ・通年議会導入による所管事務調査の検証と充実
 - ・予算決算委員会における予算審査・決算審査の連動の充実
 - ・広報広聴機能の充実強化
 - ・地方議会評価モデル（地方議会の成熟度基準）の実装と充実
- ◎議会の機能強化
 - ・監視機能の強化と政策立案能力の向上
- ◎公正公平な議会運営の推進
 - ・合議体としての議会
- ◎議会におけるICT化の推進
 - ・タブレット端末の活用
 - ・本会議だけでなく、委員会もオンライン動画配信の検討

以上の所信表明の後、全議員（27人）による投票がおこなわれ、清川雅史議員が24票、無効票3票で、清川雅史議員が議長に選出されました。

副議長選挙には 2名の議員が立候補し所信表明

古川雄一議員18票 吉田恵三議員 7票 横山淳議員 1票で
古川雄一議員が副議長に当選

議長選挙のあとに、副議長選挙がおこなわれ、古川雄一議員と吉田恵三議員の2名が立候補を表明し、所信表明をおこないました。

古川議員は、①政策サイクルと議員間討議の充実、②市民との意見交換会の活性化、③議会評価制度の本格的導入、④広報広聴機能と議会モニターの熟度を上げる、⑤議会活動を充実させる議会運営…について所信を述べました。



吉田議員は、①市議会議長を補佐する役割を全うする、②一般質問、総括質疑力の向上、③公正公平な議会運営、④議会改革の検証と推進、

⑤広報広聴機能の充実と強化…について所信を述べました。

その後、全議員による投票がおこなわれた結果、

- 古川雄一議員 18票
- 吉田恵三議員 7票
- 横山 淳議員 1票

となり、最大得票を得た古川雄一議員が副議長に選出されました。

常任委員会の構成

日本共産党・原田議員は 文教厚生委員会委員長へ

正副議長選挙の後、議長による各常任委員会の議員の所属指名がおこなわれました。各常任委員会の構成は次のとおりとなりました。なお各委員会では、議長から指名されたあと、委員会を開催し互選で正副委員長が選出されました。

日本共産党の原田俊広議員は、希望通り文教厚生委員会所属となることが出来て、委員会の中では互選で委員長となりました。各常任委員会の構成は下記のとおりです。（委員長◎ 副委員長○で表記）（敬称略）

<総務委員会>

◎高橋義人 ○横山 淳 ・榎屋奈津子 ・清川雅史 ・古川雄一
・松崎 新 ・成田芳雄

<文教厚生委員会>

◎原田俊広 ○平田久美 ・小倉孝太郎 ・笹内直幸 ・大島智子
・長郷潤一郎 ・丸山さよ子

<産業経済委員会>

◎大竹俊哉 ○渡部 認 ・長谷川純一 ・小畑 匠 ・大山享子
・吉田恵三

<建設委員会>

◎高梨 浩 ○内海 基 ・中川廣文 ・石田典男 ・奥脇康夫
・村沢 智 ・譲矢 隆

<予算決算委員会>

議長を除く全議員による構成。
◎小倉孝太郎 ○村沢 智

また、議会運営委員会、広報広聴委員会については、下記の構成となりました。（敬称略）

<議会運営委員会>

◎松崎 新 ○奥脇康夫 ・中川廣文 ・小畑 匠 ・大竹俊哉
・長郷潤一郎 ・村沢 智

<広報広聴委員会>

◎榎屋奈津子 ○松崎 新 ・平田久美 ・長谷川純一
・笹内直幸 ・大島智子 ・村沢 智 ・原田俊広

文教厚生委員会委員長として、住民自治活性化、福祉・教育を中心にした政策課題の充実へ、市民意見を出発点に、市民主人公の議会活動にがんばります

日本共産党の原田俊広議員は、これまでの10年間のうち2期8年間は文教厚生委員会に所属して活動しました。そのなかで子どもの貧困の解決をはじめ、市民の各層の方々、各団体の方々から寄せられた切実な願いを市議会に届けて、一般質問だけでなく委員会質疑でも切実な市民意見を出発点に議論・提案してきました。

この2年は総務委員会所属でありましたが、文教厚生委員会に戻り、2度目となりますが委員長として活動することになりました。

重要な役割を果たすために、決意新たにがんばってまいります。